

第6学年 総合的な学習の時間（STEAM教育）学習指導案

1 単元名 「未来も安心して住める町づくり」

2 単元目標

災害が起こるメカニズムや災害が起こることによって出る被害について調べたり、実際に防災活動に取り組む方や災害現場で活動する方々の考えに触れたりすることで、自然災害を自分事と捉え、命を守るための行動について考えていくとともにリスクマネジメント能力を身につけていく。そして、自然災害から加西市に住む人々を救ったり守ったりするために何ができるかを考え、自分たちの住む市を大切に思い、未来の社会をつくる主体者としての自覚をもって進んで行動しようとする力や探求する力を育成する。

3 単元計画詳細

過程	学習活動	他機関・各教科との関連	指導のポイント等
課題の設定①	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害についての既習事項を振り返る。 ・ 台風 ・ 地震 ・ 大雨 ・ 土砂災害など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理科「台風と気象情報」「流れる水のはたらき」「大地のつくりと変化」 ・ 社会科「国の政治の仕組みと選挙」 ・ 社会科「わたしたちの生活と環境」「自然災害からくらしを守る」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「災害」というキーワードから思い浮かぶ内容や、知っていることについて挙げていく。 ・ 授業での既習事項を思い出させることで、教科学習と生活場面とのつながりがあることを意識させる。
身の回りに起こる「災害」について調べて詳しくなろう。			
情報の収集・分析・まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害について調べ、発表する。 ・ 本やインターネット等を活用して、調べ学習をしていく。 ・ 調べるポイントを確認し合い、それぞれの災害についての特色を明確にしていく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">調べるポイント</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害が起こるメカニズム ・ 災害の発生状況 ・ 災害が起こることによって出る被害 ・ 災害からの避難方法 ・ 災害に対する備え 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 算数科「表とグラフ」「割合のグラフ」「速さ」 ・ 国語科「きいて、きいて、きいてみよう」「みんなが過ごしやすい町へ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調べた情報をアウトプットしていくことを念頭に置き、活動に取り組ませる。 【テクノロジー】 ・ Googleの検索機能を活用する ・ Googleスライドで調べたことをまとめる ・ ロイロノートのシンキングツールを活用して、調べた情報を整理する

	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「人と未来防災センター」の見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 震災の被害と地震のメカニズムを知り、自然災害を自分事として捉える。 ・ 防災に対する正しい知識をもち、災害発生時に適切な行動をとる大切さに気付く。 ・ 命を守るための行動について考える。 </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害についての発表を通して、自分の生活とかけ離れたものではないことに気付かせる。 ・ 自分や身の回りの人の命を守るためにできることについて考えられるようにする。 <p>【テクノロジー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロイロノートを活用して学習のまとめをして、防災についての考えを共有する。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">課題の設定②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分や身の回りの人の命を守ることにについての疑問や課題を明確にする。 ・ 自然災害を自分事として捉える中で、自分たちの住む町では災害に対してどのような取り組みをしているのかについて学習課題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会科「わたしのまち みんなのまち」「わたしたちの生活と環境」「自然災害からくらしを守る」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然災害によって過去に多くの人々がなくなっていることや、これから起こる可能性のある自然災害によって人々の命が危険にさらされるなど自然災害は恐ろしいものだということに改めて気付かせる。 ・ 自然災害はなくすることはできないが、被害を減らすことはできるのではという視点を持たせる。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">情報の収集・分析・まとめ②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「防災」についての考え方を整理し、自然災害に対する加西市の取り組みについて調べていくにあたっての課題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 算数科「表とグラフ」「折れ線グラフ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災に関わる方に話を聞くことを伝え、様々な視点から防災について考えることができるようにする。 ・ この時点でグループを編成して、課題発見から解決まで一連の流れを経験できるようにする。
<p>加西市や自衛隊の取り組みについて調べ、詳しくなろう。</p>			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「防災」を考えるにあたって…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いつ起きてもいいように常に備えをしておくことが必要 ・ ハザードマップや避難場所の確認 ・ 防災備品（自助・公助） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会科「子育て支援の願いを実現する政治」 ・ 国語科「みんなが 	<p>【テクノロジー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロイロノートの共有機能を活用して、情報の共有・整理を行う。 ・ ハザードマップや市のホームページ等を参考にすることで、加西市

<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの災害を忘れずにいる ・ 常にアンテナを張り、危機意識をもっておく <p>調べるポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加西市の地形と起こりうる災害について ・ 安全な場所や危険な場所について ・ 加西市でこれまで起こった災害 ・ 自然災害に関する加西市の取り組み ・ お金の使われ方（税金） 	<p>過ごしやすい町へ」「グラフや表を用いて書こう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会科「わたしのまち みんなのまち」「わたしたちの生活と環境」「自然災害からくらしを守る」 	<p>の取り組みを理解するとともに、取り組みに対する課題や疑問を挙げられるような視点をもって調べさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加西市の取り組みについて調べていく中で、加西市に住む人々にどのような困り感があるのかを考えていけるようにする。 <p>【テクノロジー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Google の検索機能を活用する ・ ロイロノートのシンキングツールを活用して、集めた情報の整理をする。
<p>「自衛隊」の出前授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に災害現場でどのように救助したり支援したりしているのかについて話を聞き、公助の取り組みについて理解する。 ・ 破壊構築物探機やエアージャッキ、油圧カッタ、野外炊具などを体験したり見たりすることで、命を守るための道具について考える視点をもつ。 		
<p>○ 自衛隊の災害後の取り組みや日頃の訓練の様子などを聞き、人々の命を守るための努力や備えについて知る。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 公助の視点として、実際に災害現場でどのように救助したり支援したりしているのかという視点で「防災」を考えられるようにする。 ・ 自衛隊の方の思いに触れ、災害が他人事ではないことを知り、自分の命を自分で守るだけでなく、子どもである自分たちにもできることがあることに気付かせる。
<p>「加西市役所危機管理課」の出前授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加西市の被害状況を確認するとともに、加西市の防災の取り組みについて確認する。 ・ 避難所や備蓄物資について、避難した後の取り組みについて理解する。 ・ 災害が起きた時取る行動について知り、自分や周りの人の命を守るためにできることを考える。 		
<p>○ 自分たちが考えた課題や疑問を危機管理課の方に伝えたり、加西市の取り組みや防災に対する思いや</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「自助」「共助」「公助」の視点で幅広く加西の取り組みについて知ることができるようにする。

<p>願いに気付いたりする。</p>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>「兵庫県防災士会」の出前授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所運営体験を通して、避難所設営にどのような問題があるのかを知る。 ・ 避難所に来るさまざまな人を想定して、その困り感を知ることができる。 </div>		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分達で避難所運営体験をし、様々な人の困り感を知る。 ○ 3つの出前授業を通して、自然災害が起こることによって困る人や不安な気持ちをもっている人がいることに気付く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ かさい防災ネット ・ 避難場所の確保 ・ 防災意識が低い現状 ・ 災害弱者の増加 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所生活を自分ごととして考えたり、「自分たちには何ができるのか」「どのようなアイデアが考えられるのか」などをより深く考えられたりできるようにする。 <p>【テクノロジー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロイロノートのシンキングツール（ピラミッドチャート）を活用して、疑問や質問内容を整理する。 ・ ロイロノートのシンキングツールを活用して、それぞれの方が、どのような場面でどのような困り感を感じているかを明確にする。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然災害から加西市に住む自分たちや周りの人の命を救ったり守ったりするために、デザイン思考の考えで学習していくことを確認する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの学習で調べたり聞いたりして学んできたことをもとに、自分たちの力でよりよいものを生み出していこうとすることに挑戦させる。
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p>「みんな」が未来も安心して住める町づくり</p> </div>		
<p>【共感】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 加西市で自然災害が起こることによって、どのような人々がどのようなことで困るのかを考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちが調べてきた災害に対する課題や加西市が行っている取り組み・自衛隊を関連付けさせ、どこにどのような困り感があるのかを理解させる。 ・ 加西市の取り組みと困り感をつなげて考えさせることで、トレードオフの関係に気付かせる。 <p>【テクノロジー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Google スライドや Google ドキュメントを活用し、自分の生活とどうつながっているかを明確にさせる。

	<p>【問題定義】</p> <p>○どのような問題があるのかを収集し、情報をまとめ、考えるべき課題を文章に表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町づくりの視点（防災・減災・土地） ・避難所の視点（人とのつながり） ・救助の視点（自助・公助・共助） に絞って考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国語科「提案しよう、言葉とわたしたち」「私たちにできること」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調べた表やデータをもとに、問題点をはっきりさせる。 ・ まなボードを用いて、問題点についての考えを共有する。 <p>【テクノロジー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロイロノートのシンキングツールを活用して、それぞれの方が、どのような場面でどのような困り感を感じているかを明確にする。
	<p>【発想】</p> <p>○問題を解決するためのアイデアを出し合い、より良い解決方法を探る。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ ブレインストーミングを用いて発散的に思考させる。 ・ 自分のアイデアを伝え合う活動を多く設定することで、自分だけでは思いつかないアイデアに触れさせ、新たな考えを創り出させるようにする。 ・ 常に【共感】【問題定義】に立ち返らせ、何のためのアイデアなのかを明確にさせる。 ・ 困り感に対してどのようにアプローチするのかを常に問いかけ、どの角度からどう問題を捉えているのかを考えられるようにする。 <p>【テクノロジー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロイロノートの共有ノートを活用した情報共有 ・ ロイロノートのシンキングツールを活用して、解決方法の吟味・精査
	<p>【プロトタイプ】</p> <p>○創造の段階で出てきたアイデアを比較・吟味し、問題を解決するための方法を選び出す。</p> <p>○選んだアイデアに適した方法でプロトタイプを制作する</p> <p>○テストに向け、プレゼンテーションの準備をする。</p>		<p>【テクノロジー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Google スライド ・ Google ドキュメント ・ Tinkercad → 3D プリンタ ・ AdobeSpark ・ KOOV ・ マイクラフト ・ Canva <ul style="list-style-type: none"> ・ プロトタイプの発表会にならないように、自分たちのアイデアを客観

	<p>○ 誰に提案したいかまで考えておくようにする。</p>		<p>的な視点で捉えるようにさせる。</p> <p>【テクノロジー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Google スライド ・ Canva
	<p>【テスト】</p> <p>○ 自分たちがデザインしたものを関係機関の方に提案する。</p>	<p>「自衛隊」「加西市役所危機管理課」「防災士」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の提案について感想やアドバイスをしてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【共感】【問題定義】の視点でプロトタイプが考えられているかについて見ていただき、「みんな」が未来も安心して住める町づくりについての対話ができるような時間を確保する。 <p>【テクノロジー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Google スライドや Canva を使用した提案型プレゼンテーションの作成
	<p>○ 単元の学習のふり返しを行う。</p>		